

孤立死 畳にしみた影

だれにもみとられず、何日も気づかれずにいる孤立死。家族、地域のつながりが薄れた「最期」が増えている。

吉田太一(45)が、初めて、孤立死とわかる現場に入ったのは8年前の夏だった。

死後1週間たって発見された60歳の男性。部屋の整理を遺族から頼まれ、大阪の古い木造アパートに向かった。

部屋のドアをあけ、思わず後ずさりかけた。小さな台所と6畳の部屋に、カップめんの空容器が散らばる。死臭に、こぼれたしょうゆのおいが混じる。

一緒にきていた遺族に、吉田は努めて冷静に言った。「大丈夫。何とかしますから」

遺族に代わって部屋の清掃や遺品整理をする会社を、始める準備をしていた。大阪の下町育ち。28歳のときに軽トラックを買い、引っ越し業を始めた。骨つばや遺影がある部屋の家財道具を運び、専門の商売になる、とひらめいた。

このにおい、どうやったら取れるのやろ。男性の部屋で、吉田は壁紙を替え、畳をあけて茶殻で床をふいた。請け負ったからには、の一心だった。

その年の秋、「キーパーズ有 limite社」を始めた。事業が軌道に乗るにつれ、吉田の悩みは深まった。「ホンマは遺族がすること。余計な仕事なのは現場で見たことや感じたことをブログに書き始めた。たとえば、こんなふうに。」

老人ホームで亡くなった母親の遺品受け取りを拒んだ息子がいた。遺品の箱の中には、息子の子ども頃の写真と、小学校で作った紙製ロボットがあった。

「息子さんは、生涯母親の本当の気持ちを知ることはないのかも知れません」

多くの人たちから応援、感謝のコメントが寄せられた。遠方に住んでいる、病気で動けないなど、自分を必要とする遺族もいるんだ。自信をもって仕事に向き合えるようになった。

いま、アニメDVDを作り、社会福祉協議会などに配っている。独り暮らしの男性が亡くなり、1カ月後、ハエや悪臭が周囲にその死を気づかせる。最後に、人の形が畳に黒くしみこんだ写真を映し出す。

「ひとごとではないんです。死んで1日、2日で『あの人がいないね』って、気にしてもらえない人間関係が一つや二つはある人生を送らんと」

葬儀、家の後かたづけ……。死は、周囲の人々に様々な事後処理をもたらす。できるだけ自分で後始末をしたい、という思いの一助となるのが「生前契約」だ。その先駆け「りすシステム」を始めて17年になる松島如戒(71)には、忘れられない死がある。

1996年2月、小学校の校長までつとめた独り暮らしの女性の死。末期の乳がんだと分かって半年後、65歳で亡くなる。直前、生前契約を結び、一通の

メッセージを残していた。「身内や友人がいないわけではありません。いつまでも先生と慕ってくれる教え子もたくさんいます。でも、私はそっと消えてしまいたいのです」

彼女には10の心配事があった。だが骨を拾ってくれるのか、賃貸住宅を返してくれるのか、公共料金の支払いはどうなるの。いずれも生前契約で代行できると確認し、亡くなった。メッセージは、こう締めくくられている。

「自分の死を予測し、後始末が全部出来たことは何という幸せでしょう。松島は涙した。大分で20歳のときに出家した後、松島は東洋大で社会学を学ぶ。卒論審査をした元東洋大の磯村英一(90)年、東京・巣鴨に「もやいの碑」をつくる。

血縁や宗教に関係ない合葬墓。磯村は、東京都が主宰する墓地問題の研究会代表だった。松島は考えてきた。核家族がいきつくところは、独り暮らしだ。入院手続き、みどり、死後の世話を誰がするのか。そして、公正証書を活用した生前契約を生み出した。

「最期の迎え方は生き方の延長上にしかない。地縁や友人、行政、生前契約。求めれば、必ず何らかの縁は結べるのです」

生とは、死とは。人と人とのつながりとは。墓や葬式など、弔いの場に向き合ってきた人々の思いをたどる。(このシリーズは星野哲が担当します。文中は敬称略)



吉田太一さん。人形などの遺品を供養する



松島如戒さん

家族みんなで本屋さんへ行こう www.shufunotomo.co.jp

主婦の友社の本 ■主婦の友社コールセンター 書店番号049-259-1122 / 読者番号049-259-1236

最新・最強の医学百科 誕生!

- ◆ウイルス、感染症など最新医学情報に対応。
- ◆話題の糖尿病新薬、がん治療最前線情報も掲載。
- ◆1200以上の病気の症状・治療法を詳しく解説。
- ◆類書を圧倒! 東洋医学・漢方の情報が超充実。
- ◆お金をかけずにスグ実行できる予防・健康術。
- ◆免疫力アップ、メタボ予防、目的別レシピ満載!
- ◆知っておきたい赤ちゃん・子どもの病気と対応。
- ◆介護や家庭看護、応急手当などの情報も網羅!
- ◆主婦の友社だからできた、信頼と安心の執筆陣。
- ◆一家に一冊! 新生活スタートへの贈り物にも最適!

テレビで大反響!

脳科学おばあちゃん 久保田カヨ子先生、待望の最新刊!

人気テレビ番組「エチカの鏡」などで話題を集めた久保田カヨ子先生が、「青脳遊び」を写真で解説、赤ちゃんの脳を育む「久保田メソッド」を脳科学の第一人者である久保田競(きそう)博士とともに「自宅で毎日できる遊び」として紹介しました。一問一答や、手作りおもちゃのアイデアなども収録。

脳科学おばあちゃん 久保田カヨ子先生の **0-1才 脳を育むふれあい育児** 久保田 競 / 久保田カヨ子 ●定価: 980円 978-4-07-270768-5

脳科学おばあちゃん 久保田カヨ子先生の **2-3才からの脳を育む本** 久保田 競 ●定価: 各1365円 978-4-07-265419-4

赤ちゃんの脳を育む本 合計30万部突破!

ベストセラー! 久保田メソッドがわかる2冊。

子ども手当 差がつく大学進学プランニング

子ども手当 978-4-07-271463-9

生活費の補てんはNG、子どもの将来に備え、しっかり計画、賢く貯めよう、コミックスでわかりやすい!

どう貯める? どう使う? 978-4-07-256886-6

978-4-07-265419-4

最新決定版 **家庭の医学** すぐわかる、よくわかる

ずっと使える 定価3990円 978-4-07-269541-8

累計118万部の実績!

信頼と実績 累計118